

変えないで！教育委員会制度

教育の中立性・安定性を守ろう



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

5月3日(土)
平和憲法を生かす香川県民の会
場所：県社会福祉総合センター
総会：9:30～
講演会：10:00～
講演者 天木 直人氏

旧 教育委員会制度 *いづみ*



新 教育委員会制度 *いづみ*



安倍内閣は、戦後の教育改革の柱の一つである教育委員会制度を変えようとしています。「改正」案は、①教育長と教育委員長を統合して新「教育長」にすること ②新「教育長」は首長が議会の同意を得て任命・罷免ができること ③首長が教育の方向を決定しその方向に教育委員会を動かすことができることなどがあげられています。

何が違うようになるの？

教育委員会制度は、戦前のように「教育が時の政府によって都合のよい内容に変更される」ことがないように、子ども、父母、住民、教職員などの願いに応え、自主性のある教育がされることを目的に作られてきたものです。この制度は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教法）の中で決まっています。この法が変更されると、政権が変わる度に政府に都合のよい教育がなされることになり。また、上の漫画の中にも書いていますが、首長が意に沿う教育長を選ぶことで、教育委員会は首長の考えの元に動く組織になってしまいかねません。そして、ひいては教師も時の政府の意を汲んだ教育内容だけを教えるていく存在になってしまわないかと危惧されます。

教育の中立性を学んだはず

教育の中立性については、みなさんもよく知っていることだと思います。正確には「政治的」「宗教的」に中立なのです。戦前の政府に都合の良い内容だけを教えるてしまおうと中立性が担保されません。

教育委員会アンケートから

先日、子どもの権利・教育・文化 全国センターは、教育委員会制度についてアンケートを実施し、全国の教育委員会から300以上の回答をもらい記者発表を行いました。

この中で「教育行政に首長の政治的な考え方が反映しやすい仕組みに変えること」について問うと、賛成と回答した教育委員会は、14%で、反対・どちらかという反対は68%にも登っています。

アンケートの理由の中には、「政治介入による教育統制があつてはならない」「教育は普遍的であり、かつ万人が認める価値観を基礎に行われるものだ」などの回答がありました。もっと国民的な議論を行い、拙速な判断をしないように願うものです。

小黑板

先日、香教組にやってきた先生から年休のことについて話があった。年休は、基本的に年休届けを管理職に出せば、休めるのが普通だが、未だにその理由を一つひとつ聞こうとする管理職がいるという▼その先生が言うには、年休届けを出すときに「ちよつと病院に行きたいので」とまで話したというのだ。管理職は親切心で言っているのかもしれないが「どうしたのか？」「何かかなり悪いのか」など矢継ぎ早に質問が来たという▼年休の理由を言いたくない場合もある。病院に行くともで言っているのなら、それ以上話してくれないのにはそれなりの理由があるからだ▼その先生の場合は病院に行くと言った

年休の理由をたずねまわると

のは不妊治療で、何時に來てもいいと病院の方に言われたので年休を出したのに、それを管理職に「どうしたのか」と聞かれて「はい、これが理由です」と言えるはずがない」と話していた▼当然である。もっと管理職なら大きな視野で物事をみてもらいたい。年休の理由を言ってもらえないのは、管理職にそれだけ信頼を寄せてない証だ。善き管理職なら、理由を聞かなくても「〇〇なのでお休みをいただきます」という言葉が自然と出てくるはずだ▼その学校では、休み時間に先生方が職員室に帰ってこないという。話しやすい職場なら休憩時間に職員室に先生方がたくさん戻ってくるものだ。

3. 29憲法学習決起集会

憲法を守り生かす教育をしよう

平和を願う全国の教員が集った



香川県からも41名が参加

全国の仲間2700人が日比谷へ集結

3月29日、全国から3000人にも及ぶ教員が、東京の日比谷野外音楽堂に集まり、憲法を守り生かす教育を作ろうと集会が行われました。
香川からも香教組、高教組などが中心となり41名がこの集会に参加。安倍首相のいう「教育再生」のもとで、時の政党が教育の中立性を脅かす、かつてない攻撃が教育界にもかかってきていることがこの集会でも明らかにされました。

憲法の大切さを

3. 29の大集会は、北は北海道から南は沖縄まで子どもたちに憲法の大切さを伝えたいという多くの教員が集まりました。集会の中で、ある教員は「憲法は、私たちが守るために作られた法律でなく、時の政府の権力行使の仕方を縛るためにできたものだ」と授業で話す生徒たちは「知らなかった」と驚いていた事を語りました。

全教の北村委員長は「安倍政権の教育政策一つひとつが憲法を変えようとするものにつながっている。教育を政治支配の道具にしてはならない」と述べました。

高校生もリレートーク

集会には、教職員だけでなく高校生も参加しており、リレートークの中で「私たちは学ぶ意欲を持っていきます。教育の自由と平和を考えられる人として、豊かに学び深く考えられる場を保障してもらいたい」と語りました。

教育再生の具体化

2014年度の文部科学関係予算は、2013年度と比べて69億円も増えて5兆3627億円です。そのうち文教関係は前年度比で302億円増え4兆964億円になりました。

この予算が、少人数学級や教職員の定数改善などの教育条件整備を進めるためのものですが、たとえとも良いことなのですが、残念ながらその予算の使い道は「世界トップレベルの学力、規

範意識、歴史や文化を尊重する態度を育む『教育再生』を実行する」としているのです。

具体化の中身は

その予算の中身は「歴史や文化を尊重する態度を育てる」として、道徳の教科化、企業や財界が求めるグローバル人材育成のための英語重視など、安倍「教育再生」の具体化を図ろうとするものばかりです。

すでに4月当初から、職場に道徳の教科書「私たちの道徳」が「心のノート」の代わりとし

て配布されました。その中身は、これまでのような読み物資料とは異なり、子どもたちがどう行動するか、どう考えるべきかを記述するところが非常に増えています。これを見た古い退職教員の中には「昔の修身の教科書みたいだ」と声をあげる方もいます。
しかもこれらは、父母・国民の願いや教職員の思いからできたものではなく、憲法や国際人権規約から見てもこの内容で本当に教育が良くなるのかと疑問を感じるものです。

2015年の春の採用をめざして

※第1回は4/29
場所はサンメッセです。

第2回 採用試験パワーアップ学習会



日時 6月7日(土)
場所 県立文書館 2階
受付9:00 開会9:30~

日々の学校での仕事ご苦労さまです。夏の採用試験突破を目指してがんばっている臨時教職員のみなさん、みなさんはどんな悩みを抱えていますか? 「なかなか勉強ができない」「他人はどのように勉強しているのだろう」そんなみなさんの思いに応え、香教組臨時教職員対策部では毎年採用試験「パワーアップ学習会」を開いています。

同じ目標をもつみんなが集まり、励まし合いながら勉強できるこの会に、ぜひあなたもご参加ください。集団面接の実技指導などを行います。